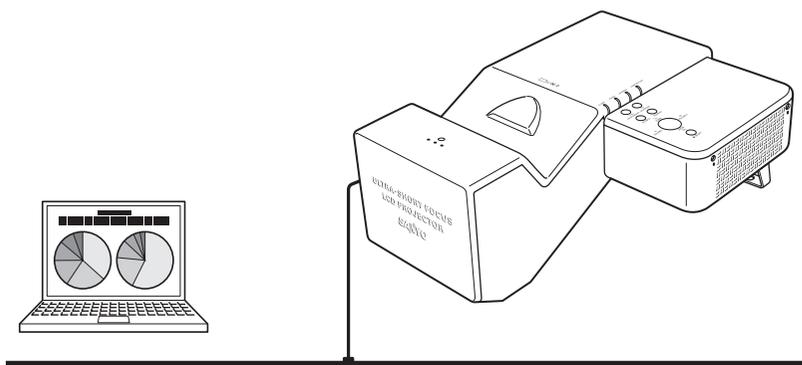


液晶プロジェクター 品番 LP-XL51



取扱説明書(別冊)

ネットワークの接続と操作のしかた [Windows編]

ネットワークの接続と操作のしかた [Macintosh編]

PJ Network Manger (SNMPマネージャーソフトウェア)

Memory Viewer (メモリービューワー) の使いかた

上記のネットワーク機能に関する取扱説明書(別冊)は、PDFフォーマットにて付属のドキュメント CD-ROM に収録されています。取扱説明書(別冊)をご覧になるにはドキュメント CD-ROM をパソコンにセットし、画面上に表示される案内に従ってください。

取扱説明書を読むには Adobe Reader (Adobe Acrobat Reader) バージョン 6 以上のソフトウェアが必要です。Adobe Reader はアドビウェブサイト (<http://www.adobe.com/jp/>) からダウンロード可能です。



安全に正しくお使いいただくために

安全に関する重要な内容ですので、ご使用前によくお読みの上、正しくお使いください。

■絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵表示の例



感電注意

△の記号は、注意（警告を含む）をうながす事項を示しています。
△の中に具体的な注意内容が描かれています。
(左の絵表示は感電注意を意味します。)



分解禁止

⊘の記号は、してはいけない行為（禁止事項）を示しています。
⊘の中や、近くに、具体的な禁止内容が描かれています。
(左の絵表示は分解禁止を意味します。)



電源プラグを
コンセントから抜け

●の記号は、しなければならない行為を示しています。
●の中に具体的な指示内容が描かれています。
(左の絵表示は電源プラグをコンセントから抜け、という指示です。)



警告

- 本製品に付属するディスクは「CD-ROM」です。一般オーディオ用 CD プレーヤーでは絶対に再生しないでください。大音量によって耳に障害を被ったり、スピーカーを破損する恐れがあります。



注意



プロジェクターをネットワークで ご使用になるときの安全上のご注意

- ネットワークを利用し、プロジェクターを遠隔地に設置してご使用になるとき、定期的プロジェクターの安全点検を行なってください。また、プロジェクターを遠隔地に設置する場合、プロジェクターの取扱説明書に従い、設置する場所の環境に十分注意を払い、安全に設置してください。正しく設置しないと、火災や事故の原因となることがあります。詳しくはプロジェクターの取扱説明書をご覧ください。
- プロジェクターに異常が認められた場合、速やかにプロジェクターの電源プラグをコンセントから抜き、点検を行なってください。異常のまま使用すると火災や事故の原因となる場合があります。



プロジェクターのネットワーク機能をお使いになる上でのご注意

プロジェクターのネットワーク機能をお使いになる場合、コンピュータの大切なデータはあらかじめ別の記録媒体（ディスク、メモリー、テープ等）へバックアップ保存されることをお勧めいたします。プロジェクターのネットワーク機能（ハードウェアおよびソフトウェア）使用における、コンピュータのトラブルおよび破損、データの消失および破損、また、取り扱いを誤った際の本機の故障、トラブルは当社ではいっさいの責任を負いません。ソフトウェアをご使用になるまえに、インストールの時表示される「ソフトウェア使用許諾」をよくお読みください。

ネットワーク関連梱包物の確認

梱包物を確認します。ネットワーク機能を利用いただくためには下記のものを使用します。必ず開梱時に内容を確認してください。万一、不足するものがありましたら、お買い求め販売店までご連絡ください。



- クイックセットアップガイド (本書)
日本語版簡易説明書 1冊



- ソフトウェア CD-ROM 1枚
Network Viewer & Capture 5 ソフトウェア
PJ Network Manager ソフトウェア
Auto Capture ソフトウェア



- 取扱説明書 (別冊) CD-ROM 1枚
ネットワークの接続と操作のしかた [Windows 版]
ネットワークの接続と操作のしかた [Macintosh 版]
PJ Network Manager (SNMP マネージャソフトウェア)
Memory Viewer (メモリービューワ) の使いかた

CD-ROM に収録された取扱説明書を読むには

取扱説明書 (別冊) は、PDF フォーマットにて付属のドキュメント CD-ROM に収録されています。取扱説明書 (別冊) をご覧になるにはドキュメント CD-ROM をパソコンにセットし、画面上に表示される案内に従ってください。

取扱説明書 (別冊) を読むには Adobe Reader (Adobe Acrobat Reader) バージョン 6 以上のソフトウェアが必要です。Adobe Reader はアドビウェブサイト (<http://www.adobe.com/jp/>) からダウンロード可能です。

表記について

本書で説明に利用したコンピュータの OS は WindowsXP Professional および MAC OS X 10.4、Web ブラウザは Internet Explorer 6.0 および Safari 3.0 です。これ以外の環境では、説明の手順が異なる場合があります。

コンピュータの必要動作環境

プロジェクターをネットワークでお使いになるには、コンピュータは以下の動作環境に対応している必要があります。

OS	Windows	Microsoft Windows 2000 又は Microsoft Windows XP 又は Microsoft Windows Vista (32bit version)
	Macintosh	Mac OS X v 10.4 以上
CPU	Windows	Pentium 3: 1GHz 以上 (2GHz 以上推奨) Windows 2000 または Windows XP 使用時 Pentium 4: 3GHz 以上 Windows Vista 使用時
	Macintosh	800MHz 以上の PowerPC G4 以上 または、1.8GHz 以上の Intel Core プロセッサを搭載
メモリ	Windows	256MB 以上 Windows 2000 または Windows XP 使用時 1GB 以上 Windows Vista 使用時
	Macintosh	256MB 以上 (512MB 推奨)
HDD 空き容量		100MB
画面解像度		VGA(640X480), SVGA(800X600), XGA(1024X768) のいずれかをサポートしていること。 色数は 16 ビット (65536 色)、24/32 ビット (1677 万色) のいずれかであること。
通信プロトコル		TCP/IP
ネットワーク 対応	無線 LAN	IEEE802.11b/g 対応
	有線 LAN	100BASE-TX(100Mbps)/10BASE-T 対応 (10Mbps)
ブラウザアプリケーション		Microsoft 社製 Internet Explorer Ver.4.0 以上 Netscape Communications 社製 Netscape Communicator Ver.6.0 以上

本機のネットワーク機能と特長

本機は有線 LAN/無線 LAN 接続機能を搭載しており、本機を LAN に接続し、専用のソフトウェアを使う事で、コンピュータの画像を LAN 経由でプロジェクターから投射することができます。また、映映画像の操作、プロジェクターの操作も行うことができます。

本機は以下の機能を持ち、ネットワーク環境下で幅広い用途にご利用いただけます。ただし、MAC OS では対応できない機能があります。また、条件によっては機能しないことがありますので、詳細は取扱説明書（別冊）をご覧ください。

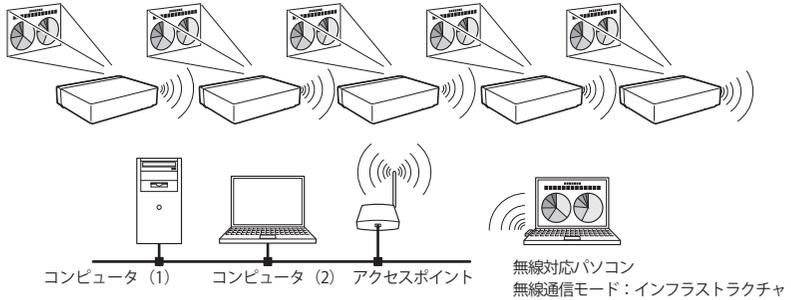
機能名	概略・特徴	Windows	Macintosh
有線 / 無線 LAN 機能	無線 LAN では、見苦しい結線が不要です。	○	○
無線簡単設定機能	複雑な LAN 設定作業を必要とせず、プロジェクターを無線 LAN で使用することができます。	○	○
オートキャプチャー機能	AutoCapture5 ソフトウェアをコピーした USB メモリをコンピュータに挿し、そのソフトウェアを起動すると、自動で無線簡単設定し、自動でリアルタイムキャプチャー機能を起動することができます。	○	○
Web マネージメント機能	プロジェクターの状態確認や電源制御などの操作・設定を、Web ブラウザを使用してコンピュータから遠隔操作することができます。	○	○
電子メールによる各種警告通知機能	プロジェクターにランプ点灯異常や電源異常が発生したときなどに、指定されたメールアドレスに電子メールを自動的に送信します。	○	○
マルチ制御機能	複数台のプロジェクターを一括して制御したり、同一画像を投射することができます。	○	○
タイマー機能による自動運転機能	設定した日時、あるいは曜日の時刻に、プロジェクターの自動起動、または終了を行います。	○	○
リアルタイム / ワンショットキャプチャー機能	Viewer & Capture 5 がインストールされたコンピュータ画面のキャプチャー画像を、ネットワークを介してプロジェクターでリアルタイムに投射することができます。また、ワンショットとして投射することもできます。	○	○ (音声再生は非対応)
ネットワークコミュニケーション機能	1 台のコンピュータ画面のキャプチャー画像を複数のコンピュータ間で共有し、このキャプチャー画像上に描画ツールを使用して文字や図形を書き入れ、コミュニケーションを取ることができます。	○	×
ネットワークビューワー機能	ネットワーク上のファイルサーバーに保管されている画像データを取得し、ネットワークを介してプロジェクターで投射することができます。	○	×
司会者機能	会議または学校でプロジェクターを使用し、司会者（講師）が権限を持ち、司会者（講師）端末と各出席者端末の画像を投射しながら会議・学習を進めることができます。	○	×
PJ Link 対応	プロジェクターを操作・管理する業界統一規格です。	○	○
SNMP エージェント機能	プロジェクターの情報を SNMP マネージャーへ提供する機能です。	○	○
SNMP マネージャー機能	PJ Network Manager ソフトウェアをインストールし、ネットワーク上のプロジェクターの状態を SNMP プロトコルを使用して管理するマネージャー機能です。	○	×
メモリービューワー機能	SD メモリーカード内の画像の投射を、外部機器を使わず、プロジェクターだけで実行することができます。	○	△ 機能制限

LAN の接続形式

接続形式は LAN および PC の環境によって異なります。環境に合わせ設置を行ってください。

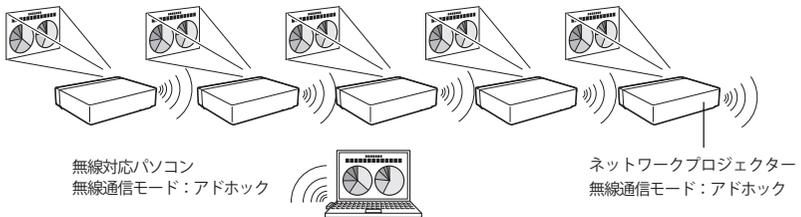
■ 無線 LAN インフラストラクチャ (Infrastructure) 通信モード

アクセスポイントを経由して有線 LAN 機器と無線 LAN 機器で通信を行います。また、アクセスポイントを経由して、無線 LAN 機器同士でも通信できます。これは無線 LAN と有線 LAN が混在しているネットワーク環境の場合に使用される通信モードです。



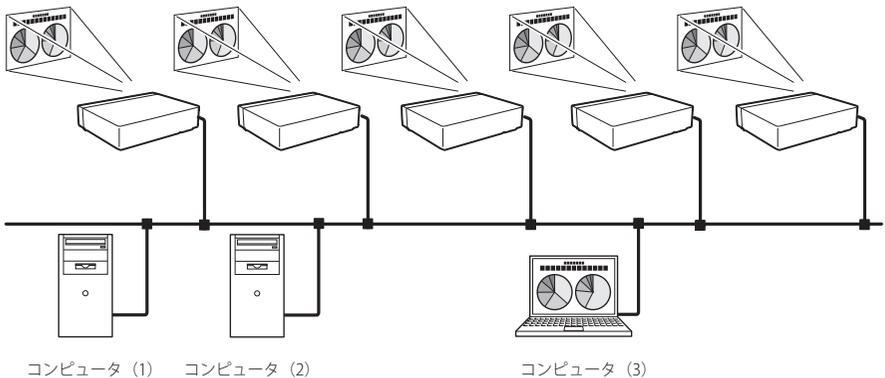
■ 無線 LAN アドホック (AdHoc) 通信モード

無線 LAN 機器間で通信を行うモードです。

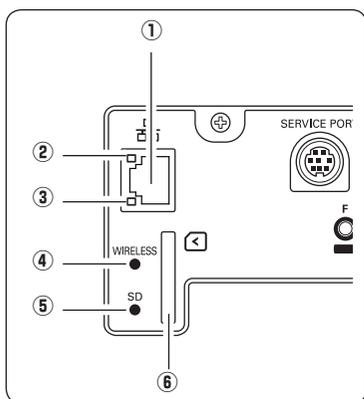


■ 有線 LAN 通信モード

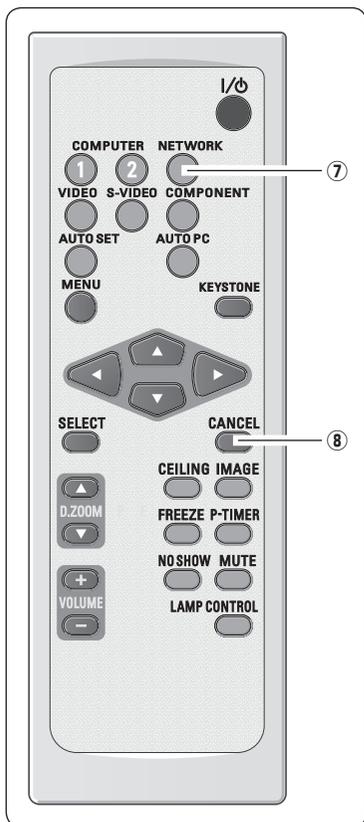
LAN 回線を通して通信を行います。



ネットワーク機能関連の各部の名称



- ① LAN 接続端子
有線 LAN で使用するとき、LAN ケーブルを接続します。
- ② LINK/ACT ランプ（橙）
ネットワークに接続されているとき、ランプが点灯 / 点滅します。
- ③ スピードランプ（緑）
接続したネットワークのスピードに応じて点灯します。
10 Base-T 消灯
100 Base-T 点灯
- ④ WIRELESS インジケータ
無線 LAN の設定が正常に完了し、ネットワーク上のアクセスポイントまたはコンピュータとの無線通信が確立すると点灯します。



- ⑤ SD メモリーカードインジケータ
SD メモリーカードがきちんと挿入されると点灯します。
- ⑥ SD メモリーカードスロット
SD メモリーカードを挿し込みます。
- ⑦ NETWORK ボタン
「有線 LAN」または「無線 LAN」を選択するとき、押します。
- ⑧ CANCEL ボタン
メモリービューワモード（画像表示中）でこのボタンを押すと、メモリービューワのブラウザウィンドウの表示になります。ブラウザウィンドウで再度押すと、カーソルがファイル選択ウィンドウからメニュー項目に移動します。

ネットワーク接続待機画面

プロジェクター入力の有線 LAN または無線 LAN を選択すると、"しばらくお待ち下さい" のメッセージが表示されます。しばらくすると、以下のネットワーク接続待機画面が表示され、ネットワークでの投影準備が出来たことを示します。"しばらくお待ち下さい" 表示中はプロジェクターの一部の操作が出来ません。

ネットワーク接続待機画面



ネットワーク機能のメニューバー

プロジェクター入力の有線 LAN または無線 LAN を選択したときのメニューバー表示です。詳細は、それぞれの機能の取扱説明書 (別冊) をご覧ください。



ネットワークをお使いになるまでの手順

プロジェクターをネットワークでお使いになるには、以下の手順で準備を行います。

STEP 1 ソフトウェアをコンピュータにインストールする。



CD-ROM に収録されているソフトウェアをネットワークでお使いになる各コンピュータにインストールします。

STEP 2 プロジェクターを有線 LAN で使うか無線 LAN で使うか決定し、LAN の接続と設定を行います。



LAN の環境に合わせて使いかたを決定します。

有線 LAN で使うとき→「4. 有線 LAN の設定」参照。

無線 LAN で使うとき→「5. 無線 LAN の設定」参照。

詳しい LAN の設定は、この後 Web ブラウザを使って行います。

Web ブラウザでの設定は、はじめに有線または無線 LAN の設定が完了し、コンピュータとプロジェクターの通信が確立している必要があります。

→「6. 基本操作・設定」参照。

STEP 3 ネットワークの設定が完了しました。

つぎの各項目に従い、画像の投映、プロジェクターの操作を行います。

- プロジェクターを操作・調整・管理する → 「7. プロジェクターの管理」
 - 「プロジェクターの電源制御と状態の確認」
 - 「プロジェクターを制御する」
 - 「PC 調整をする」
 - 「プロジェクターをセッティングする」
 - 「タイマーを設定する」
 - 「プロジェクターの情報を見る」
 - 「マルチ制御機能」
- コンピュータの画像を投映する → 「8. ネットワークキャプチャー」
 - 「リアルタイムキャプチャーを使う」
 - 「ネットワークコミュニケーションを使う」(※)
 - 「司会者機能について」(※)
- FTP サーバーの画像を投映する → 「9. ネットワークビューワー」(※)
 - 「投映可能なデータを作成する」(※)
 - 「プログラムファイルを作成する」(※)
 - 「ネットワークビューワー機能を使う」(※)

☞ (※) 印の機能は Windows にのみ対応しています。MAC OS ではご利用いただけません。

☞ ソフトウェアがインストールされていないコンピュータでも、USB メモリを使用して自動で無線 LAN の設定を行うことができる Auto Capture 機能もご利用いただけます。

ソフトウェアのインストール [Windows ご利用の場合]

Windows 2000、Windows XP および Windows NT および Windows Vista では、コンピュータの管理者権限でログインしてソフトウェアのインストールを行う必要があります。また、インストールの前に他のアプリケーションを必ず終了しておいてください。他のアプリケーションが起動していると、ソフトウェアが正しくインストールされない場合があります。

Network Viewer & Capture 5 のインストール

- 1 コンピュータの CD-ROM ドライブに付属の Viewer & Capture 5 の CD-ROM を挿入します。CD-ROM 内「Tool」フォルダ内の「SetupTool.exe」をダブルクリックしてインストールを開始します。
- 2 表示される「セットアップ言語の選択」ウインドウより表示言語「日本語」を選択した後、「OK」をクリックします。インストールウィザードに従ってインストールを開始してください。

インストールされるソフトウェア

以下の3つソフトウェアがそれぞれインストールされます。

● Network Capture 5 :

コンピュータのスクリーン画面をキャプチャーしプロジェクターへネットワークを介し配信します。スタートアップフォルダに登録され、コンピュータ起動時に常にタスクバーに常駐します。

● Network Viewer 5(File Converter1) :

JPEG、ビットマップ、パワーポイントファイルをプロジェクターで放映可能な JPEG データ、へ変換します。

● Network Viewer 5(Program Editor) :

プログラム作成ツールです。ファイルサーバーに保管している JPEG 画像データの放映の指定や順序をプログラムする機能を持ちます。



File Converter 2 のインストール

- 1 コンピュータの CD-ROM ドライブに付属の Viewer & Capture 5 の CD-ROM を挿入します。CD-ROM 内「Driver」フォルダ内の「SetupDrv.exe」をダブルクリックします。
- 2 表示されるウインドウより、言語「日本語」を選択した後、「インストール」をクリックし、インストールを開始します。



インストールされるソフトウェアと場所

Network Viewer 5(File Converter 2) はコントロールパネル内の「プリンタと FAX」内にインストールされます。

- **Network Viewer 3(File Converter 2) :**
JPEG データ変換のプリンタドライバ、アプリケーションで作成した書類からプロジェクト用 JPEG データ形式に変換します。



Network Capture 5 の起動画面

スタートメニューから「すべてのプログラム」-「Network Viewer & Capture 5」-「Network Capture 5」を選択すると、以下の画面が現れ、プログラムが開始されます。

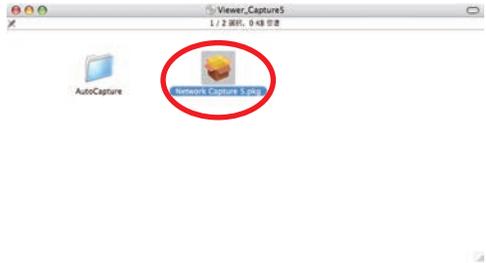


ソフトウェアのインストール [Macintosh ご利用の場合]

MAC OS では、コンピュータの管理者権限でログインしてソフトウェアのインストールを行う必要があります。また、インストールの前に他のアプリケーションを必ず終了しておいてください。他のアプリケーションが起動していると、ソフトウェアが正しくインストールされない場合があります。

Network Capture 5 のインストール

- 1 コンピュータの CD-ROM ドライブに付属の Network Capture 5 の CD-ROM を挿入します。CD-ROM 内の「Network Capture 5.pkg」をダブルクリックしてインストールを開始します。
- 2 表示されるソフトウェア使用許諾契約画面より表示言語「日本語」を選択した後、「続ける」をクリックします。インストールウィザードに従ってインストールを開始してください。



インストールされるソフトウェア

以下のソフトウェアがインストールされます。

● Network Capture 5 :

コンピュータのスクリーン画面をキャプチャーしプロジェクターへネットワークを介し配信します。

Network Capture 5 の起動画面

「Macintosh HD」 - 「アプリケーション」から「Network Capture 5」をダブルクリックすると、以下の画面が現れ、プログラムが開始されます。

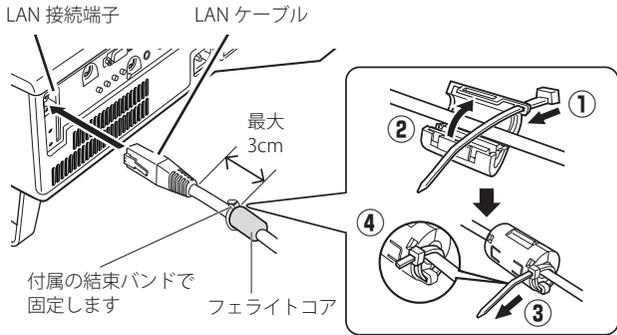


有線 LAN の設定

設定のしかたと、設定の内容は設置場所の LAN 環境によって異なります。設置の時はシステム管理者に相談の上適切な LAN 設定を行ってください。

LAN 回線への接続

プロジェクターの LAN 接続端子へ、LAN ケーブルを接続します。本機に LAN ケーブルを接続して使用するときには、LAN ケーブルの接続部分に付属のフェライトコアを取り付けてください。このフェライトコアは他の機器への受信妨害を抑えるためのものです。(取付位置は右図参照)



ネットワーク環境の設定

有線 LAN のネットワーク設定は、プロジェクターのメニューで行います。ネットワークの詳細な設定は、ブラウザを使って行います。「6. 基本操作・設定」を参照ください。「6. 基本操作・設定」を行う前に本項目の設定が完了している必要があります。

設定方法

- プロジェクターの電源を入れ、プロジェクターの入力を「有線 LAN」にすると、ネットワーク接続待機画面の表示が変わります。LAN 接続端子の LINK/ACT ランプが点灯 / 点滅をはじめます。点灯 / 点滅しないときは LAN の設定が「オフ」になっています。次項 2、3 を設定すると点灯 / 点滅します。
- プロジェクターのネットワークメニューで「有線 LAN 設定」を選択し、SELECT ボタンを押します。ポイント左右ボタンで設定する LAN 環境に近い有線 LAN 設定を LAN 1～LAN 3 の中から選択します。(LAN 1～LAN 3 はあらかじめ工場ですべての設定環境が用意されています。設置する場所の環境に近い設定を選択してください。「オフ」を選択すると、LAN の接続が遮断されます。
- ポイント左右ボタンを押すと「しばらくお待ち下さい」のメッセージが現れ、切り替え作業を開始します。切り替えはしばらくかかり、完了するとメッセージが消えます。
- SELECT ボタンを押します。有線 LAN 設定画面が現れ、選択した LAN の設定内容が表示されます。ここで、各設定内容を設置環境に合わせます。設定についての詳しくはシステム管理者にご相談ください。
- 各項目の設定が完了した後、セットボタンを選択し SELECT ボタンを押すと、「しばらくお待ち下さい」のメッセージが現れ、完了すると消えます。セットボタンを押す前にキャンセルボタンを選択し、SELECT ボタンを押すと変更内容がキャンセルされます。

有線 LAN 設定画面 (一例)

LAN 3	有線 LAN 設定			
DHCP	オフ			
IP address	123	123	123	123
Subnet	123	123	123	123
Gateway	123	123	123	123
DNS	123	123	123	123
	セット		キャンセル	

設定した LAN 環境はメニューの「ネットワーク情報」で確認できます。LAN がつながらない等の時はこの画面で確認ください。

無線 LAN の設定

無線 LAN アダプターはプロジェクターに内蔵されています。

無線 LAN ネットワークの設定は、プロジェクターのメニューで行います。

ネットワークの詳細な設定は、ブラウザを使って行います。「6. 基本操作・設定」→「ネットワーク設定」を参照ください。「6. 基本操作・設定」を行うには、はじめに本項目の設定が完了している必要があります。

設定方法

簡単無線設定機能を使うと、複雑な設定なくして無線 LAN 設定を行うことも出来ます。(p39)

1. プロジェクターの電源を入れ、プロジェクターの入力を「無線 LAN」にします。しばらくするとネットワーク接続待機画面の表示に変わります。
2. プロジェクターのネットワークメニューで「無線 LAN 設定」を選択し、SELECT ボタンを押します。
ポイント左右ボタンで設定する LAN 環境に近い LAN 設定を LAN 4、LAN 5 から選択します。(LAN 4、LAN 5、SIMPLE *はあらかじめ工場 で 3 つの設定環境が用意されているものです。設置する場所の環境に近い設定を選択ください。設定内容はこの項の後にある、「無線 LAN 工場出荷設定」をご覧ください。)
* “SIMPLE” は LAN の設定が簡単に行えるモードで、複雑な LAN の設定の作業無しで無線 LAN 接続が出来ます。このモードの使い方は「簡単無線設定」をご覧ください。
3. ポイント左右ボタンを押すと“しばらくお待ち下さい”のメッセージが現れ、切り替え作業を開始します。切り替えはしばらくかかり、完了するとメッセージが消えます。
4. SELECT ボタンを押します。

無線 LAN 設定画面が現れ、選択した LAN の設定内容が表示されます。ここで、各設定項目を設置環境に合わせてます。設定についての詳しくはシステム管理者にご相談ください。

Network type を「AdHoc」でご使用の場合、「Subnet」、「Gateway」の入力は必要ありません。

初期設定のままご使用ください。

SSID/ESSID は「Infrastructure」、「AdHoc」とも、プロジェクター、アクセスポイント、無線対応コンピュータのいずれも同じ文字を入力する必要があります。(最大 32 文字) 文字は上下ボタンで A～Z、a～z、ブランク (スペース)、0～9、-(ハイフン) から選択出来ます。つぎの文字への移動はポイント左右ボタンで行います。

プロジェクターの設定内容はプロジェクターメニュー「ネットワーク情報」で確認できます。

5. 各項目の設定が完了すると、「セット」ボタンを選択し SELECT ボタンを押します。

これで設定が完了します。

セットボタンを押す前にキャンセルボタンを選択し、SELECT ボタンを押すと変更内容がキャンセルされます。

無線 LAN 設定画面 (一例)

LAN 4	無線 LAN 設定				1 / 3
DHCP	<input type="checkbox"/> オフ				
IP address	192	168	100	100	
Subnet	255	255	255	0	
Gateway	255	255	255	0	
DNS	255	255	255	0	
Network type	<input type="text" value="Infrastructure"/>				
SSID/ESSID	<input type="text" value="PJ - WIRELESS5"/>				
				<input type="button" value="次へ"/>	<input type="button" value="セット"/>
				<input type="button" value="キャンセル"/>	

簡単無線設定 [Windows ご利用の場合]

複雑な LAN の設定作業を必要とせず、操作ボタン1つでプロジェクターを無線 LAN で使用する事が出来ます。設定されるネットワークタイプは AdHoc 通信モードです。

注意；本機能は Windows XP および Windows Vista の管理者権限でログインした場合のみ使用可能です。

Windows2000 ではご使用になれません。

Windows XP は Service Pack 1 またはそれ以降のバージョンのものをお使いください。

設定の手順

1. プロジェクターの電源を入れ、プロジェクターの信号入力を「無線 LAN」にします。
2. プロジェクターのメニューで「無線 LAN 設定」を選択し、SELECT ボタンを押します。
3. ポイント左右ボタンで“SIMPLE”を選択します。ポイントボタンを押すと“しばらくお待ち下さい”のメッセージが現れ、切り替え作業を開始します。切り替えはしばらくかかり、完了するとメッセージが消えます。この間はプロジェクターを操作する事は出来ません。(SELECT ボタンを押すと“SIMPLE”の LAN 設定内容が表示されますが、この内容は変更出来ません。)
4. コンピュータにインストールされている「Network Capture 5」を立ち上げます。
5. 操作画面の「無線簡単設定」ボタンを押します。無線 LAN 簡単設定中の画面が現れ、コンピュータが無線 LAN の設定をはじめます。(コンピュータの無線 LAN 環境をプロジェクターの“SIMPLE”設定の LAN 環境に合わせず。)

設定が完了すると、ネットワークにある“SIMPLE”設定したプロジェクターの検索をはじめます。

ネットワークのプロジェクターが検出されるとそのプロジェクターの名前又は IP アドレスが画面のプロジェクターリストに表示されます。

LAN が正しく設定され、動作しているか確認します。確認のしかたは「4. 有線 LAN の設定」→「動作の確認」(p28)の手順にしたがい確認を行ってください。

ネットワークの設定に失敗するとエラー画面が現れます。

設定画面



無線簡単設定ボタン



エラー画面



無線 LAN の接続とコンピュータ環境について；

無線簡単設定の無線 LAN はアドホック (AdHoc) 形式で接続されます。この簡単設定を使うと、コンピュータの LAN 環境設定がこの設定環境に切り替えられます。この為このアプリケーション (「Network Capture 5」) を使っている間は現在お使いになっている LAN を使った他の作業は出来なくなります。

アプリケーションを終了、または「無線簡単設定解除」ボタンを押すと、LAN 環境はもとの LAN 環境に自動的に戻ります。

簡単無線設定 [Macintosh ご利用の場合]

複雑な LAN の設定作業を必要とせず、操作ボタン1つでプロジェクターを無線 LAN で使用する事が出来ます。設定されるネットワークタイプは AdHoc 通信モードです。

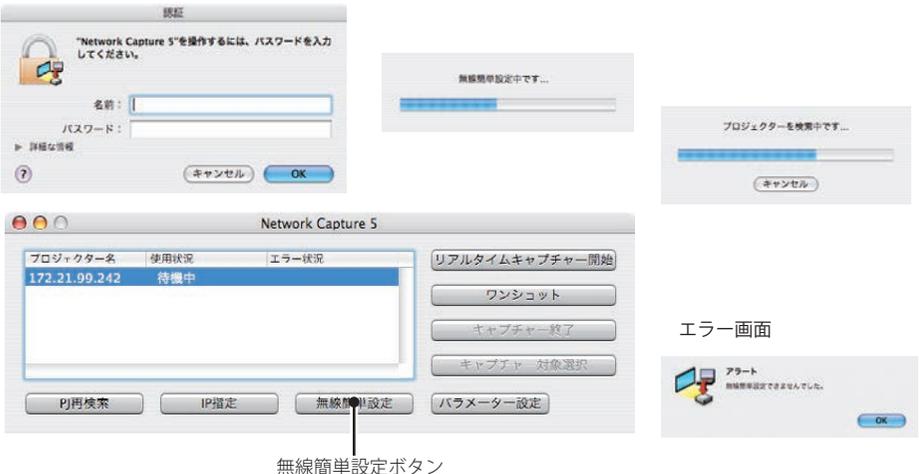
注意；本機能は管理者権限でログインした場合のみ使用可能です。

設定の手順

1. プロジェクターの電源を入れ、プロジェクターの信号入力を「無線 LAN」にします。
2. プロジェクターのメニューで「無線 LAN 設定」を選択し、SELECT ボタンを押します。
3. ポイント左右ボタンで「SIMPLE」を選択します。ポイントボタンを押すと「しばらくお待ち下さい」のメッセージが現れ、切り替え作業を開始します。切り替えはしばらくかかり、完了するとメッセージが消えます。この間はプロジェクターを操作する事は出来ません。(SELECT ボタンを押すと「SIMPLE」の LAN 設定内容が表示されますが、この内容は変更出来ません。)
4. コンピュータにインストールされている「Network Capture 5」を立ち上げます。
5. 管理者権限の認証ウィンドウが現れますので、コンピュータの管理者権限の名前とパスワードを入力して「OK」をクリックします。無線 LAN 簡単設定中の画面が現れ、コンピュータが無線 LAN の設定をはじめます。(コンピュータの無線 LAN 環境をプロジェクターの「SIMPLE」設定の LAN 環境に合わせます。)設定が完了すると、ネットワークにある「SIMPLE」設定したプロジェクターの検索をはじめます。ネットワークのプロジェクターが検出されるとそのプロジェクターの名前又は IP アドレスが画面のプロジェクターリストに表示されます。ネットワークの設定に失敗するとエラー画面が現れます。

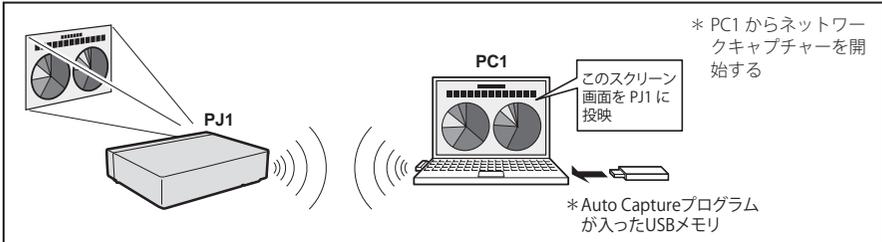
操作画面の「無線簡単設定」ボタンを押すことによっても簡単無線設定が実行されます。

設定画面



無線簡単設定ボタン

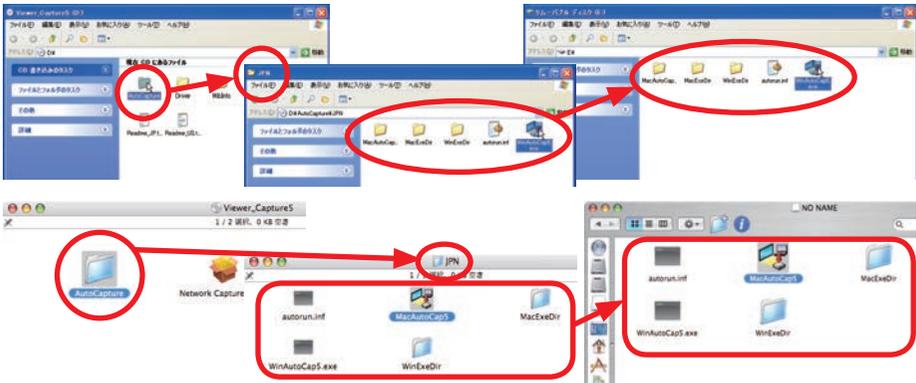
簡単無線設定 [USB メモリを使用する方法]



Network Capture 5 のソフトウェアをインストールしていないコンピュータでも、Auto Capture プログラムを入れた USB メモリをコンピュータにセットすることにより、無線簡単設定およびリアルタイムキャプチャーを自動で起動することができます。

CD-ROM [AutoCapture] → [JPN]

USB メモリ (リムーバブルディスク直下)



1. 予め Network Viewer & Capture 5 の CD-ROM に収録されている「AutoCapture」→「JPN」フォルダ内の全てのファイル及びフォルダを市販の USB メモリの直下にドラッグ & ドロップでコピーしておきます。
2. プロジェクターの電源を入れ、プロジェクターの信号入力を「無線 LAN」にします。
3. プロジェクターのネットワークメニューで「無線 LAN 設定」を選択し、SELECT ボタンを押します。ポイント左右ボタンで LAN 設定「SIMPLE」を選択します。
4. 上記の USB メモリをコンピュータの USB 端子にセットします。「リムーバブルディスク」ウィンドウが自動起動しますので、「[Network Capture 5] Open Program デバイスで提供されたプログラムを使用」を選択し「OK」をクリックします。
5. 起動された実行ファイルが、自動で簡単無線設定を行います。(ネットワークアダプタの選択画面が現れた場合は、使用するコンピュータ環境に合わせてネットワークアダプタを選択します。) 続いてプロジェクターを自動で検索し、コンピュータの画面のリアルタイムキャプチャーを開始します。
6. 「リムーバブルディスク」ウィンドウが自動起動しない場合は、リムーバブルディスク中の「WinAutoCap5」または「MacAutoCap5」をダブルクリックします。

自動でリアルタイムキャプチャーが開始する条件

プロジェクター 電源：オン、入力モード：無線 LAN、無線 LAN 設定：SIMPLE

PJ 検索結果が 1 台の時

コンピュータ PC1 管理者権限でログインしていること、無線 LAN カードを装備、ソフトウェア：不要
[自動起動しない場合] USB メモリから WinAutoCap5 または MacAutoCap5 を実行

* 「リムーバブルディスク」ウィンドウが自動起動するのは、Windows XP 及び Windows Vista のみです。

ネットワーク暗証番号

ネットワークからプロジェクターへのアクセスを制限する暗証番号です。

暗証番号を設定すると、ネットワークからプロジェクターの操作をするとき、暗証番号が要求されます。メニューの暗証番号設定を選択します。

1. ネットワーク暗証番号を選択し、SELECT ボタンを押す。ネットワーク暗証番号入力画面が現れます。
2. 暗証番号を設定します。暗証番号無しは「0000」を設定します。

ネットワーク情報

メニューのネットワーク情報を選択し、SELECT ボタンを押すと、現在選択しているプロジェクターの LAN の設定環境が表示されます。(以下は一例であり実際のものとは異なります。)

有線 LAN ネットワーク情報の一例

ネットワーク情報	
Main Program :	V1.000
MAC address :	08007B650056
IP address :	169.254.53.0

無線 LAN ネットワーク情報の一例

ネットワーク情報	
Main Program :	V1.000
MAC address :	08007B650056
IP address :	169.254.53.0
Wireless mode :	802.11b/g
Network type :	AdHoc
Channel :	11
SSID/ESSID :	WIRELESS

有線 LAN/ 無線 LAN 工場出荷設定

有線 LAN 設定 / 無線 LAN 設定の各 LAN 1 ~ LAN5, SIMPLE は、工場出荷時以下の内容に設定されています。

有線 LAN 設定項目	選択 LAN		
	LAN1	LAN2	LAN3
IP ADDRESS	169.254.100.100	192.168.100.100	192.168.100.100
SUBNETMASK	255.255.0.0	255.255.255.0	255.255.255.0
GATEWAY ADDRESS	255.255.255.255	255.255.255.255	255.255.255.255
DNS アドレス	255.255.255.255	255.255.255.255	255.255.255.255
IP CONFIGURATION	MANUAL	DHCP	MANUAL

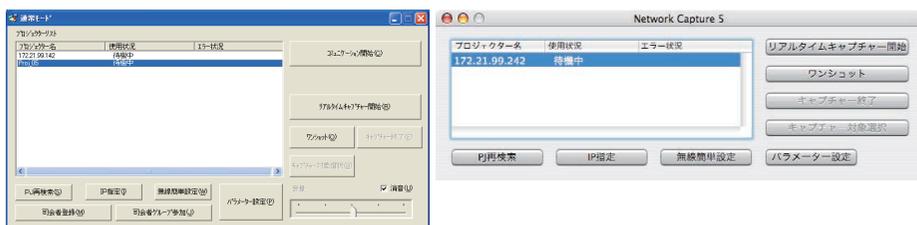
無線 LAN 設定項目	選択 LAN		
	LAN4	LAN5	LSIMPLE
IP ADDRESS	169.254.100.100	192.168.100.100	169.254.*.*
SUBNETMASK	255.255.0.0	255.255.255.0	255.255.255.0
GATEWAY ADDRESS	255.255.255.255	255.255.255.255	255.255.255.255
DNS アドレス	255.255.255.255	255.255.255.255	255.255.255.255
IP CONFIGURATION	MANUAL	DHCP	MANUAL
WIRELESS CHANNEL	11	11	11
NETWORK TYPE	802.11b AdHoc	INFRASTRUCTURE	802.11b AdHoc
WIRELESS SSID/ESSID	PJ-WIRELESS5	任意	PJ-WIRELESS5
WEP/WPA-PSK/WPA2-PSK	無効	無効	無効

ブラウザの起動

Web ブラウザを使用してネットワークに接続されたプロジェクトターを管理する場合、Web ブラウザで操作するコンピュータとプロジェクトターが有線 LAN または無線 LAN でネットワークに接続されている必要があります。あらかじめ LAN の設定を完了しておいてください。

1 ネットワーク上のプロジェクトターを検索する

1. プロジェクトターの電源を入れます。
2. Network Capture 5 を立ち上げます。Network Capture 5 はネットワーク上のプロジェクトターを検索し、プロジェクトターリストにプロジェクトターの IP アドレスまたはプロジェクトター名を表示します。
3. ネットワークプロジェクトターリストから、設定を行うプロジェクトターをダブルクリックします。
4. Web ブラウザが起動し、プロジェクトターの設定ページが表示されます。



2 表示モードを選択しログインする

以下のスタンダードモードとライトモードが用意されています。ご使用の環境に合わせて適切なモードをクリックして選択してください。一度選択すると次回以降のログインでは自動的に選択した表示モードの設定画面が表示されます。表示モードを切り換えるには設定画面右下の「トップへ」をクリックしてください。



スタンダードモード パソコン表示用モード、メニューや設定項目をグラフィックで表示します。通常はこのモードを選択します。

ライトモード 200 x 300 ドット表示、PDA 等の携帯用 PC での表示に最適化しています。また、ネットワークが遅いときに使用すると便利です。(マルチ制御機能に一部制限があります)

設定画面に暗証番号が設定されている場合には、認証ウィンドウが表示されますので、「ユーザー名(名前): user」、暗証番号を入力し、「ログイン (OK)」ボタンをクリックします。
* ユーザ名は必ず「user」を入力します。

[ご注意]

初めてプロジェクトターにアクセスした場合や、暗証番号をなし [0000] に設定している場合は、この認証ウィンドウはスキップされ、次のメイン設定画面が表示されます。



3 メイン設定画面の表示

選択した表示モードに応じて、以下のようにプロジェクターのメイン設定画面が表示されます。この画面から各種設定を行います。各種リンク項目をクリックし操作・設定画面を表示します。

1 スタンダードモードでのメイン設定画面

時計表示
ON/OFF で表示/非表示を切り替えます

サブメニュー
クリックしてサブメニューを切り替えます

ページ番号
番号をクリックしてページを切り替えます

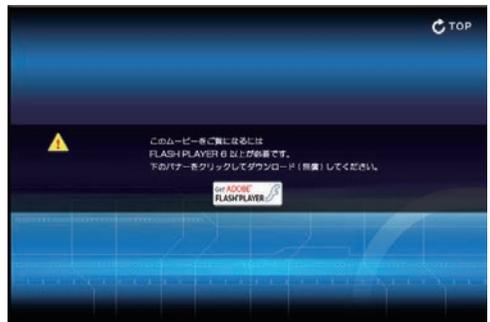
メインメニュー
クリックして設定メニューを切り替えます

設定項目
選択したメニューに対するコントロール項目や状態項目が表示されます

クリックすると表示モード選択画面に戻ります (※p.44)

☞ 本説明書ではこのスタンダードモードを使用した設定・コントロール方法の操作説明をおこないません。

☞ ご使用のパソコンに Adobe Flash Player バージョン 6 以上がインストールされていない場合には、画面の指示に従って、Adobe Flash Player をインストールしてください。詳細な製品情報及びインストール手順については Adobe 社ウェブサイト (<http://www.adobe.com/jp/>) をご覧ください。



PJ Network Manager (SNMP マネージャーソフトウェア)

PJ Network Manager のインストール [Windows へのみ対応]

1. コンピュータの CD-ROM ドライブに付属の CD-ROM を挿入します。CD-ROM 内「PJ Network Manager」フォルダ内の「SetupTool.exe」をダブルクリックしてインストールを開始します。
2. 表示される「セットアップ言語の選択」ウインドウより表示言語「日本語」を選択した後、「OK」をクリックします。インストールウィザードに従ってインストールを開始してください。

● PJ Network Manager とは

PJ Network Manager は、プライベート MIB(Management Information Base) をサポートしたネットワーク対応機器用の SNMP マネージャーソフトウェアです。

PJ Network Manager をコンピュータにインストールすることで、ネットワークに接続された機器（液晶プロジェクター、プロジェクションモニター、フラットディスプレイモニターなど）の動作状態の監視を簡単に行うことができます。

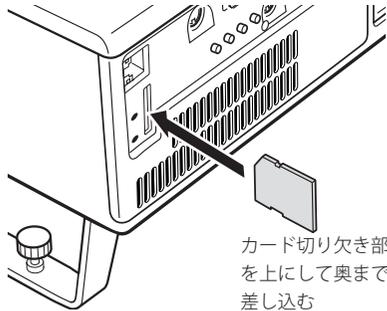
詳細な情報は、付属 CD-ROM に収録されています PJ Network Manager の取扱説明書をご覧ください。



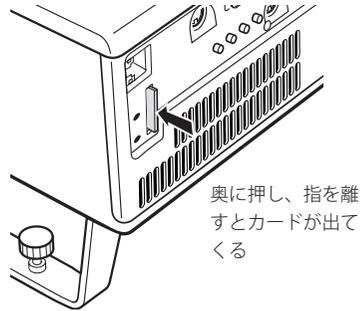
Memory Viewer (メモリービューワー) の使いかた

SDメモリーカードを挿入すると、SDメモリーカードインジケータが点灯し、入力モードが「有線 LAN」または「無線 LAN」に自動で切り換わり、メモリービューワー起動画面が一時的に表示された後、SDメモリーカードに保存されている画像が投映されます。

図のようにSDメモリーカードをプロジェクター側面のSDメモリーカードスロットへ挿入します。



挿入されているSDメモリーカードを奥に押し込み、出てきたところを抜き取ります。



クイックセットアップガイド LP-XL51
1AA6P1P5650-- (KV7C)

SANYO

三洋電機株式会社